



# 医師会病院だより



## 理念

安心して暮らせる地域づくりを目的とし、益田地域のニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います。

## 基本方針

1. 公正で安全な医療を提供し人材育成と研修の場を提供します。
2. 患者さま・ご家族さまの人権と意志を尊重し、納得と同意に基づいた医療を提供します。
3. かかりつけ医の支援病院としてきめこまかな病診連携を行います。
4. 在宅を目指した保健予防・リハビリテーション・緩和ケアの充実を図ります。
5. 益田地域全体にわたる保健・医療・福祉のネットワークを構築し、地域医療拠点病院として使命を果たします。

## 第73号

作業療法で行う  
手工芸について  
健康食レシピ  
接遇研修会他  
外来担当表

# 作業療法で行う手工芸について

リハビリテーション科連載記事より

作業療法では、いろいろな作業活動を治療手段として使用します。その中で医師会病院で行っている手工芸について紹介したいと思います。

## 作業の種類

折り紙、編み物、陶芸、刺し子、タイルモザイク、裁縫、色塗り、籐細工、さくらほりきりなど

## 対象疾患

脳梗塞、認知症、パーキンソン病、脊髄損傷、手の骨折など

## 作業の選び方

患者様によってどの手工芸を選んで提供するのか、どのくらいの難易度で行ってもらえるのかなど、注意する点がいくつかあります。入院前に行っていた作業を行ってもらうことも多いですが、あえて新しいものを選択することもあります。

例)

## 認知症の方：

- ・カレンダーの色塗りを毎日当日のみ塗っていくようにする
- ・編み物を1日1列ずつ行ってもらう

認知症の方には、日付や場所など現実的な項目を含むものを行うことで自分の今の状況を少しでも認識できるような機会を提供するようにする。また、毎日同じ作業を行うことで仕事として習慣化するようにする、昔行っていた作業を行いたい出す機会をつくるなど

## 片麻痺の方：

- ・折り紙の時におもりの代わりに手で押さえる
- ・色塗りの紙を押さえる

片麻痺の方には、今の手の機能をどれだけ活かすことが出来るようにするかが重要となる。まずは両手で行う簡単な作業、そして徐々に難易度を上げていくようにする。

(折り紙)



(カレンダー)



<そのほか>

## 手の怪我などの方：

- ・編み物など細かいものを動かすようにする
- ・籐細工など力を入れて行なう作業をする

手の怪我の方は、筋力低下が生じることが多いため、力強く握る、引っ張るなどの工程があるものを選ぶ、細かい作業が多いものを選ぶ等対象者の弱い部分を直接鍛えるように関わる。

(編み物)



(刺し子)



病気や怪我などで障害を持った方や認知症など加齢に伴う認知機能の低下に対して、作業療法では様々な活動を通して関わっています。

人によってやり方や手順を変えるなど、工夫して行う事で、自宅で手軽にリハビリテーションをおこなうことができるのではないかと思います。

# 健康食レシピ

しょうがときのこの佃煮

田んぼでたわわに実ったお米をおいしくいただける季節となりました。そんなご飯のお供に、旬のきのこを使用した佃煮はいかがでしょう。



しょう。きのこは火を通すとかさが減り手軽に量が摂れるため、食物繊維不足を補え、なおかつ満腹感も得られやすく食べ過ぎ防止につながります。

また、今回の佃煮はしょうがも入っているため、体がぼかぼかと温まります。

使用するきのこは、しいたけやエリンギなどお好みのものを使用しても良いでしょう。

## 材料 (4人前)

しょうが	40 g
えのき茸	40 g
舞茸	40 g
濃口しょうゆ	8 g
砂糖	8 g
みりん	8 g
酒	8 g
かつお削り節	2 g

## 栄養成分 (1人分)

エネルギー	25 kcal
たんぱく質	1.4 g
脂肪	0.1 g
炭水化物	4.9 g
塩分	0.3 g
食物繊維	0.9 g

## 作り方

### 下準備

しょうがは皮をむき、千切りにしておきます。

きのこは石づきを切り落とし、えのき茸は1/2の長さに切り、舞茸は食べやすい大きさにほぐしておきます。

### 調理

鍋(もしくはフライパン)に を入れさっと炒め、砂糖、みりん、酒を入れて煮ます。

ある程度火が通ったら濃口しょうゆを加え、汁気がなくなるまで煮詰めます。

### 仕上げ

煮詰まったら、かつお削り節を入れて出来上がりです。

# 接遇研修会開催

当院では、医療の質向上のみならず、サービス全般を向上させるために、様々な委員会活動や取り組みを行っており、11月9日(初級コース)、10日・16日(中級コース)に接遇

研修会を開催いたしました。接遇研修は、職員はもちろん業務委託先、派遣職員も含め医療センターで働く全てのスタッフを対象に年1回開催しております。

勤務の関係で全員参加には至りませんでしたでしたが3日間で243名が参加しました。

講師に成和産業株式会社CS推進部の平儀野真紀氏を迎え、「ひとりひとりのココロに残る接遇を」をテーマにグループワークを交えて分かりやすく説明いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

参加したスタッフからは、「わかりやすい」「改めて接遇の大切さを感じた」「普段の業務に活かしたい」等の声がありました。信頼される病院を目指し、このような取り組みを継続して実施していきたいと思えます。



## 秋の防災訓練 11月22日

(火)、秋の避難訓練を実施しました。

夜間に地震発生、その後建物内で火災が発生した想定で病棟勤務者・当直者および自宅からの自主参集を想定した職員が参加しました。



安否確認・被害状況確認、通報連絡、初期消火、避難誘導、救護所・対策本部の設置などを行いました。

益田消防本部のご協力によりポンプ車による放水や梯子車による救出訓練も行いました。



夜間は、勤務者が少なく、暗いため思うように避難誘導が出来ないことが想像されます。



万々に備えて、落ち着いた行動ができ患者様を安全に避難できるよう訓練を重ねていきます。

## 写真集を寄贈していただきました 11月8日(火)、

4月に写真6点を寄贈していただいたアマチュア写真家グループ「フォトクラブ高津川21」から新たに写真集「日本一の清流 高津川」を寄贈していただきました。



フォトクラブの皆さんが撮影された高津川や支流の四季折々の力作写真が収められたA4サイズで60ページの写真集を吉崎会長から寄贈していただきました。



より多くの皆さんに見ていただけるよう1階図書コーナーに置いてありますのでお気軽にご覧ください。



4月に寄贈していただいた写真は1階エレベーター前と2階会議室への廊下の2ヶ所に分けて展示してあります。

## 第46回TQM発表大会 11月26(土)、第46回TQM発表大会を開催しました。県内外から7

施設18名の方にご参加いただきました。病院方針「垣根を越えたサービス提供」、くにさき苑方針「老健の理念と役割の徹底」に基づいた半年間に渡る改善事例を15サークルが2会場に分かれて発表を行い、会場ごとに優秀賞、特別賞の選考を行いました。



優秀賞

ほうれんそうサークル  
シトラスサークル



特別賞

3Dサークル  
働きばちサークル



今回はTQMサークルの事例発表とは別に、新たに発足したWLB(ワークライフバランス推進プロジェクト)の発足の経緯や今日までの活動内容、今後の活動について福原看護部長が中間報告を行いました。WLBについては3年程度の活動期間を想定しており、今後もTQM発表大会ごとに活動内容について中間報告を行い職員に周知を行いながら職場環境の整備に取り組んでいく予定です。



# 益田地域医療センター医師会病院 外来診療担当医一覧表

平成23年11月1日より

診療科	診察	月	火	水	木	金	備考
内科	午前	狩野 稔久	古田 晃一郎	井上 実緒	岩田 芽久美	小川 哲生 (6番にて)	内科一般
					狩野 稔久 (再診のみ6番にて)	古田 晃一郎 (再診のみ)	
循環器内科	午前		足立 正光 (9:00~12:00)				循環器科
外科	午前	服部 晋司	林 彦多	槇野 好成	五十嵐 雅彦	水本 一生	消化器外科・呼吸器外科 小児外科・肛門科 一般外科
					山野井 彰 (胆・肝・膵外科)	五十嵐 雅彦 (再診のみ7番にて)	
肛門外科	午前				服部 晋司		第1・3・5木曜日 服部医師 第2・4木曜日 林医師
					林 彦多		
皮膚科	午前				水本 一生		皮膚外科・皮膚血管外科 外来も含む
整形外科	午前	交互診療	守屋 淳詞	大中 博司	大中 博司	守屋 淳詞	整形外科一般
麻酔科	午前		島大麻酔科			島大麻酔科	交互診療 (斎藤・豊田・今町・三原・橋本・太田・平出・石田) 蓼沼
リハビリテーション科	午前	柿木 伸之	柿木 伸之	新垣 美佐	中島 暁美 (9:30~12:00)	柿木 伸之	リハビリテーション科全般
リウマチ科 (電話予約制)		近藤 正宏 角田 佳子 (9:00~15:00)					膠原病専門外来 近藤・角田の交互診療 電話による完全予約制
呼吸器外科	午前		岸本 晃司 (9:00~12:00)				第2・4火曜日 呼吸器疾患全般 二次健診後のフォロー
循環器外科	午前			末廣 章一			第1水曜日 (心臓・血管外科)
特殊 外来	脳神経領域	午前			山崎 達輔		
	頭痛外来	午前			石崎 公郁子		完全予約制
	放射線治療	午前				川口 篤哉	第4金曜日
	乳腺外来	午後		槇野 好成			火曜日午後(14:00~16:00)
	緩和ケア	午前				五十嵐 雅彦 服部 晋司	第1・3・5木曜日

初診受付 午前8時30分～11時00分 再診受付 午前8時30分～11時30分  
但し、急患の場合はこの限りではありません。

## 緩和ケア外来を開設します

「がん」と診断された患者さんは、手術や化学療法など「がん」そのものの治療だけでなく、「がん」に伴うつらさ(痛みなどのつらい症状、こころの問題、療養上の気付き)を解決する事も大切です。そこで当院では患者さんやご家族のサポートをするために11月10日から緩和ケア外来を開設いたしました。

**外来日：木曜日(第1・3・5週目)**

**担当医：五十嵐雅彦・服部晋司**

**事前の予約が必要です。**

ご予約・ご相談、問い合わせ先 **がん相談支援センター 担当：二宮 隆史**

発行：益田地域医療センター 広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1917-2 TEL：0856-22-3611(代表) FAX：0856-22-0407

E-mail：info@masumi.shimane.med.or.jp 医師会病院URL：http://hp.masuda-med.or.jp/